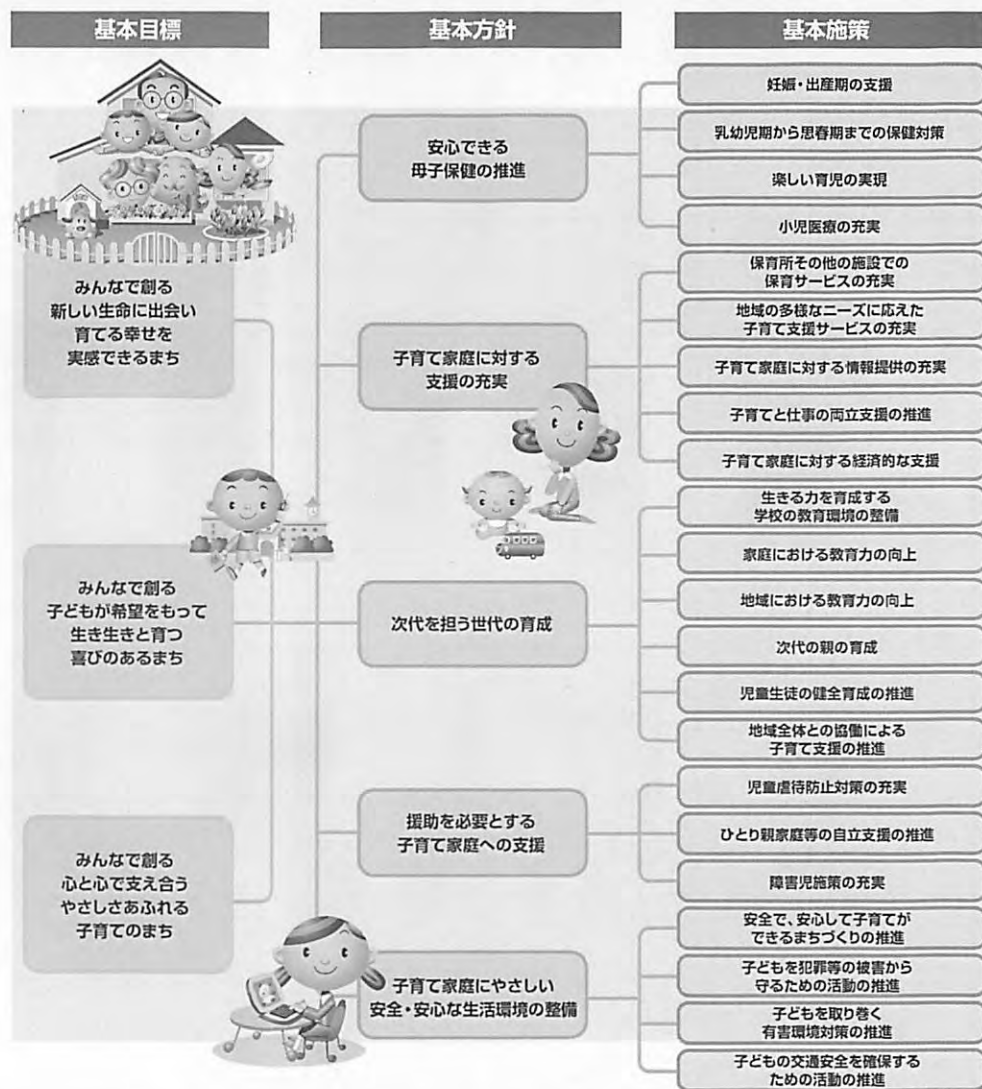




福山市次世代育成支援対策推進行動計画の体系



福山市次世代育成支援対策推進行動計画

みんなで創る
ナンバーワン
子育てNO.1 ONLY.1のまち ふくやま

発行/福山市 児童部 子育て支援課
〒720-8501 広島県福山市東桜町3番5号
TEL:084-928-1053 FAX:084-022-0846

URL: <http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/>
E-mail: kosodate@city.fukuyama.hiroshima.jp

子育てNO.1 ONLY.1の福山市をめざして 「福山市次世代育成支援対策推進行動計画」を策定しました!!

少子化の背景

■家族のあり方が変容しています。

福山市(旧福山市、旧内海町、旧新市町、旧沼隈町)の0歳児から小学生までの人口の推移をみると、1980年(昭和55年)までは増加傾向にありましたが、その後は減少に転じています。また、世帯構成をみると、「夫婦のみ世帯」や「単身世帯」の割合が増加しています。

■子育てにかかる負担が増大しています。

ニーズ調査においても、育児不安やストレスを抱える人や子育てや教育に関する経済的負担を感じている人が多くなっています。

■就業構造に変化が起きています。

女性の労働力人口が増加しています。県平均と比べると、本市の女性労働力率はやや高い割合となっています。

少子化による現象

- ※子ども同士のコミュニケーションを行う機会が減少します。
- ※家族間・親子間のコミュニケーションが減少します。
- ※子どもの社会性の発達に影響を与えます。
- ※労働力人口が減少します。
- ※親になるまでの期間において、乳幼児と接する機会が減少します。
- ※現役世代の社会保障などの経済的負担が増大します。
- ※地域の活力が低下します。など

福山だからできる、福山ならではの 子育て支援施策を充実します!!

目的

次代を担う子どもたちの健やかな育ちや自立を促し、更には、親自身の育ちを支援し、子育て・親育て支援社会を形成することを目的としています。

福山市がめざす社会

「安心して子どもを産み、育て、すべての子育て家庭やそれを取り巻く地域住民すべてが生き生きとして心豊かに暮らすことができる子育て環境を家庭、行政、地域がともに形成し、子育てに喜びを感じ、分かち合うことができる社会」をめざします。

基本理念

みんなで創る 子育てNO.1 ONLY.1のまち ふくやま

■行動計画におけるそれぞれの役割

行政

母子保健事業や各種の子育て支援事業などを充実するとともに事業主に対する子育てと仕事の両立のための啓発や行政と地域が一体となり効果的な子育て支援をすることができる環境を整備していきます。

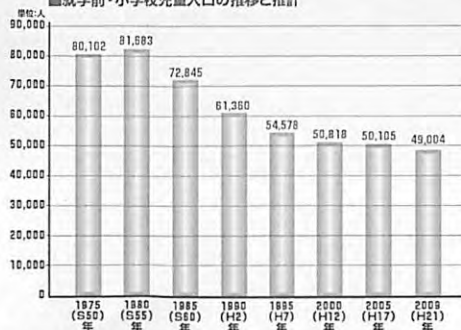
地域

地域社会全体で子どもの心身の成長を見守るとともに、様々なイベントや自然体験活動などを通して地域のきずなを強めることで地域の子育て力を向上させます。

家庭

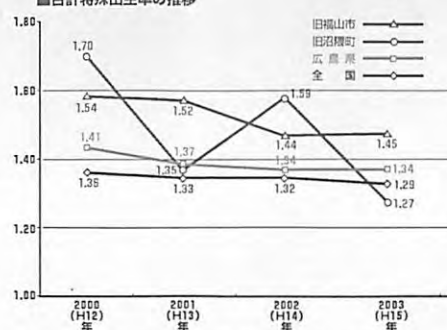
親や家族との愛情によるきずなを形成し、人に対する信頼感や倫理観・自制心や自立心を身に付けさせるなど家庭の教育力を取り戻し、心豊かな子育てをめざします。

■就学前・小学校児童人口の推移と推計



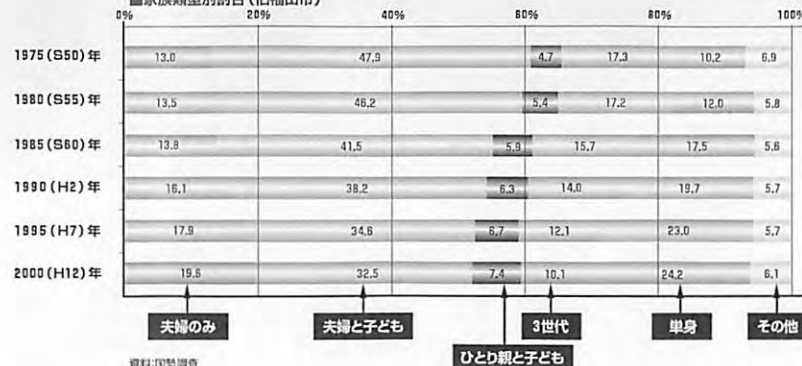
資料:国勢調査(2005(H17)年は2月1日現在の旧福山市、旧内海町、旧新市町、旧沼隈町の住民基本台帳による。)2009(H21)年はコーホート変化率法による推計値

■合計特殊出生率の推移



資料:人口動態統計(旧福山市における2003(H15)年は、旧内海町、旧新市町を含む。)

■家族類型別割合(旧福山市)

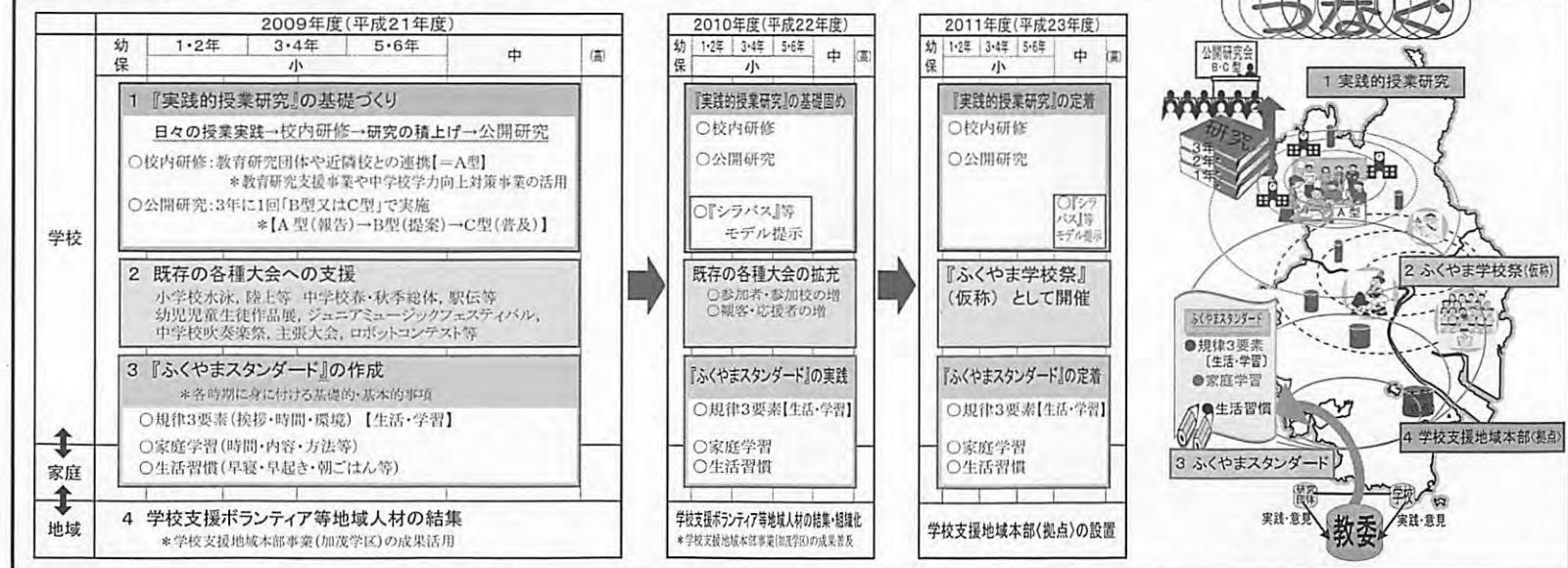


資料:国勢調査

1 ばらと教育のまちをめざす全国水準の学校教育への Approach

5つの重点目標		子どもたちに育む力 教職員に求める力		6つの重点項目		10の具体項目		指 標		現状値08(H20)		目標値11(H23)	
										小		中	
◆◆ 子どもは、よく学び よく遊び 健康やかに育っている ◆◆◆													
Ⅰ 確かな学力	知	基礎・基本と学ぶ意欲	1 習得・活用・探究を図る授業の推進	①「授業改善シート」の確実な実施		「全科目・学習領域間の全科目以上の教科書(教科書)」		3/4	0/4	4/4	2/4		
				②朝の時間等でのことばタイムの設定・通年実施		「基礎・基本」学習領域間の全科目以上の教科書(教科書)		0/2	0/3	2/2	1/3		
				③習得・活用・探究の視点に明確にした教育研究支援事業等の計画・実施		特別活動の必要と児童生徒の個性に合わせた教育活動の展開率(%)		55.1	52.3	100	100		
Ⅱ 豊かな心	徳	やる気と規範意識	2 要となる道徳の時間の充実 3 積極的な生徒指導と問題行動への対応	④道徳教育推進教員を中心とした指導体制の構築		不登校児童生徒率(%)		0.55	3.87	0.32	2.97		
				⑤規律3要素(挨拶・時間・環境)の徹底				1.55	1.17以下				
				⑥体験活動(学校行事、中学校部活動等)の充実		暴力行為発生率(%)		0.07	1.33	0.03	0.77		
Ⅲ 健康やかな体	体	心身の健康と体力	4 体力向上を重視した多様な教育活動の充実	⑦体力向上担当教員を中心とした体力向上対策の確実な実施		体力テストの県平均以上の種目率(%)		32.3	18.5	60	30		
								27.3	50				
						朝ごはんを食べる児童生徒率(%)		95.8	90.9	100	95		
◆◆ 先生は、自信と誇りに溢れ尊敬と信頼を得ている ◆◆◆													
Ⅳ 力量ある教職員		確かな授業力と豊かなコミュニケーション能力	5 専門性と授業力が高める教職員研修の充実	⑧研修講座での習得内容を活用した実践		教職員研修成果の学校への還元率(%)		90.5	100				
				⑨近隣校や教育研究団体と連携した授業研究の実施		近隣校や教育研究団体と連携した授業研究の達成数(校)		46	28	65	30		
								74	95				
◆◆ 校長は、学校経営の夢を熱く語っている ◆◆◆													
Ⅴ 市民から信頼される学校		高い識見と教職員への指導力・統率力	6 校長を中心とした学校マネジメントの推進	⑩学校評価の充実とわかりやすい学校情報の発信		学校評価と自己申告書の連鎖率(%)		80.8	83.3	100	100		
								81.6	100				

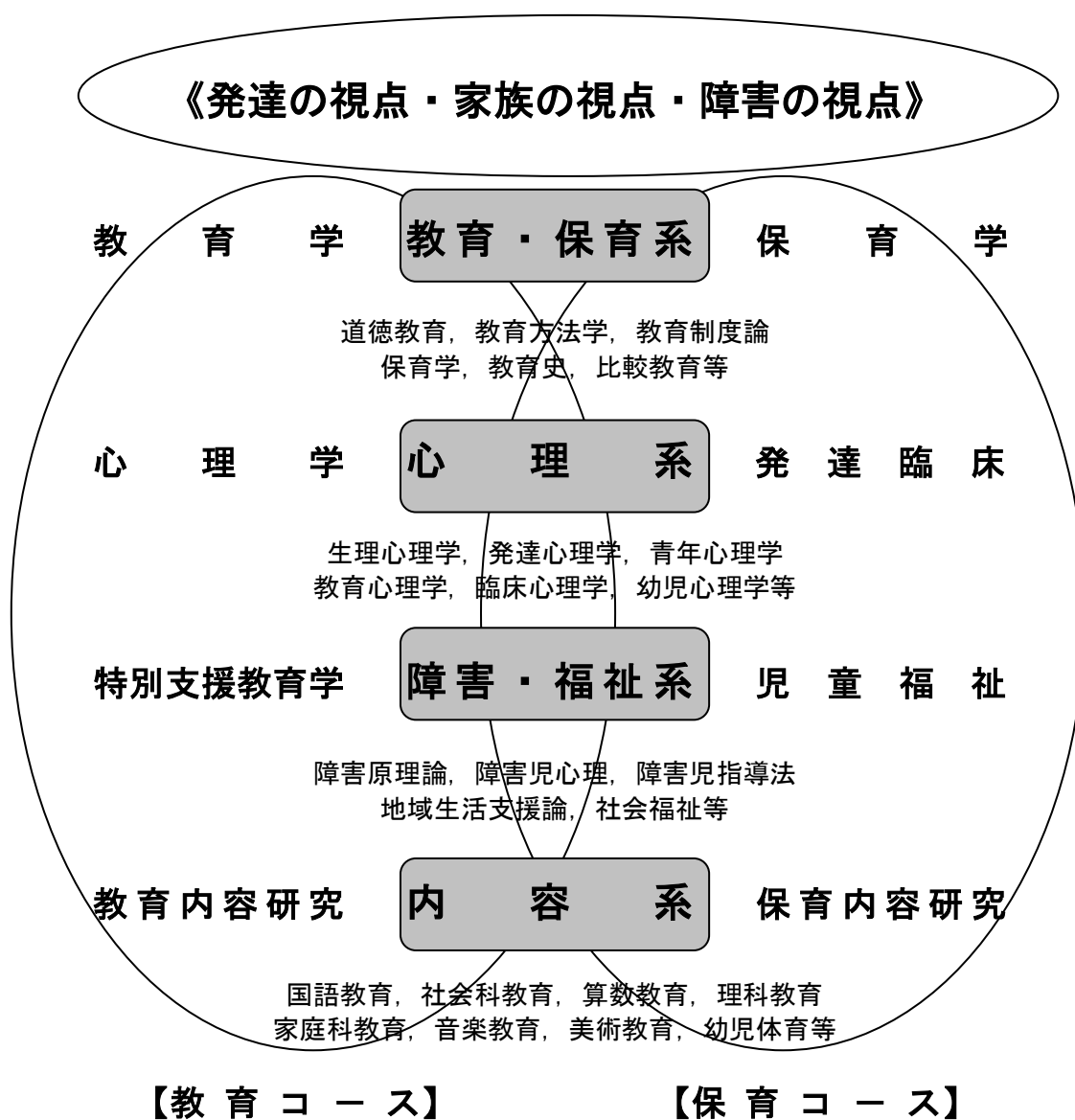
3 ばらと教育のまちをめざす全国水準の学校教育への施策(仕組みづくり)



2 主な施策(事業)

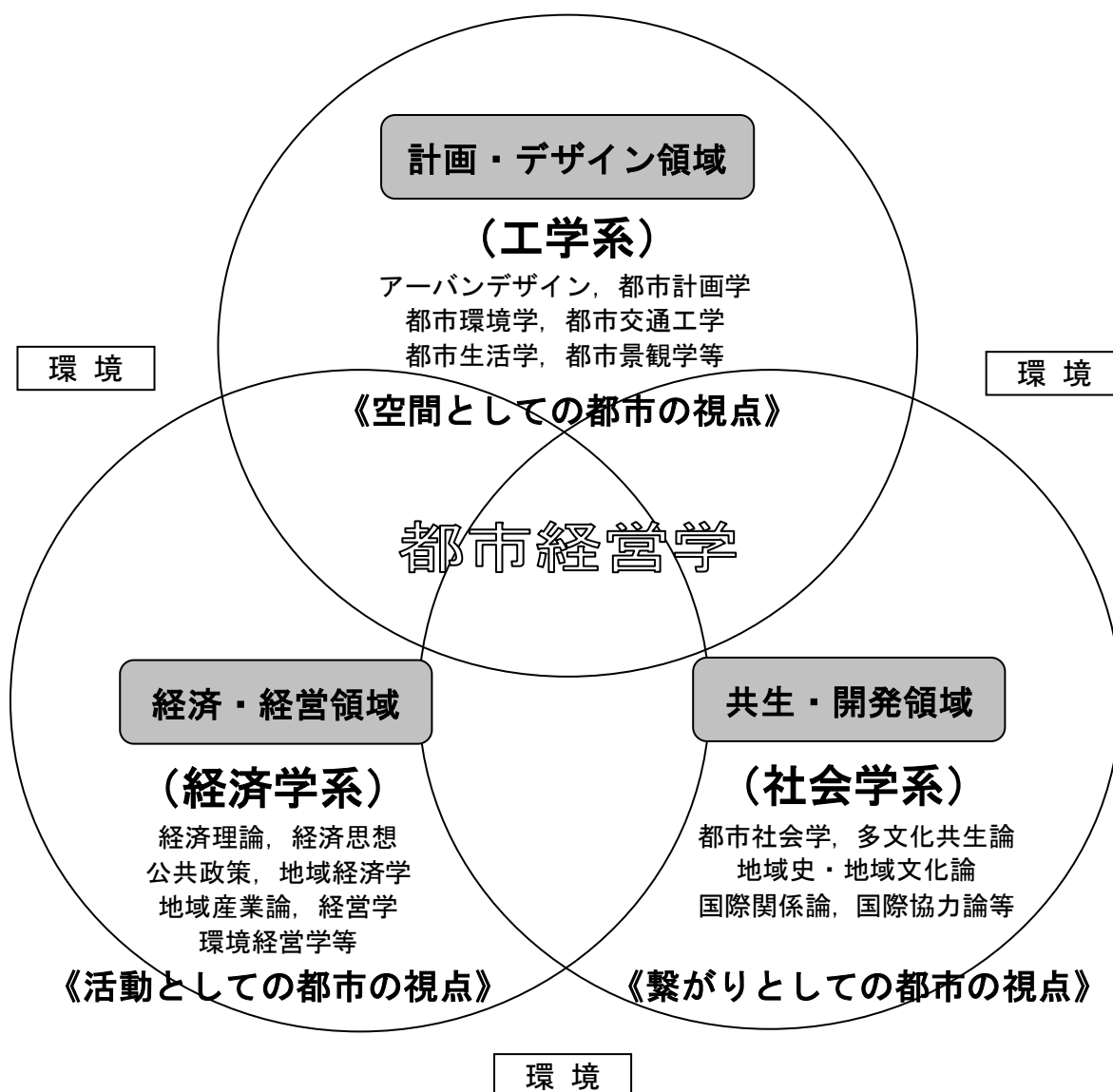
- I 確かな学力**
- (国) 理科支援員配置事業、発達障害等支援・特別支援教育総合推進事業、教育課程研究指定校事業、外国語活動における教材の効果的な活用及び評価の在り方に関する実践研究事業
- (県) 中学校学力向上対策事業、指導方法工夫改善、小学校1・2年生はたきプラン、中学校1年生はつらつプラン、小学校6年生への少人数指導事業、中学校2・3年生への習熟度別指導事業
- (市) キャリア教育推進事業、少人数指導推進支援事業、英語教育推進事業、教育研究支援事業、特別支援教育体制推進事業、情報教育推進事業、特別非常勤講師配置事業、教職員研修事業
- II 豊かな心**
- (国) 豊かな心体験活動推進事業、問題を抱える子ども等自立支援事業
- (県) 豊かな心を育てる体験活動推進事業、生徒指導総合対策事業、外部人材活用プロジェクト事業
- (市) 教育研究支援事業、教育相談室開設事業、生徒指導奨励費、善行児童生徒顕彰、スクールカウンセリングプロジェクト事業、中学校文化活動生徒派遣費補助事業、教職員研修事業
- III 健康やかな体**
- (国) 中学校武道ダンス必修化に向けた地域連携指導実践校事業
- (県) 外部人材活用プロジェクト事業、体育実技ボランティア事業
- (市) 小中学校屋外遊具体育器具点検事業、小学校体育連盟補助事業、学校教育振興費、中学校体育連盟補助事業、日常的体力測定のための器具設置、教職員研修事業
- IV 力量ある教職員**
- (国) 教職員等中央研修
- (県) 教育総合講座、大学院派遣研修
- (市) 教職員研修事業(義務研修、推薦研修、指定研修、任意研修)、校長会補助事業、教頭会補助事業、学校教育研究団体連絡協議会補助事業
- V 市民から信頼される学校**
- (国) 学校支援地域本部事業
- (県) 主幹教諭・指導教諭の配置
- (市) 学校評価推進事業、通学時安全確保対策事業、スクールサポートボランティア事業、児童生徒安全対策事業、教育用・教員用コンピュータ整備事業、提案型事業(協働のまちづくり課所管事業)

教育学部 児童教育学科の教育研究分野【概念図】



保・幼・小連携の保育・教育に
地域や家庭と連携して取り組める教育者・保育者の育成
と
変化する時代の地域社会における教育・保育のあり方の探究

都市経営学部 都市経営学科の教育研究分野【概念図】



持続可能な都市社会の構築に向けた
企業の活性化や地域の再生を担える人材の育成
と
地域の課題と持続可能な都市社会のあり方についての
実践的かつ学際的な探究

福山市の保育所数，入所児童数等の推移

1. 福山市の保育所の状況

(単位:所, 人)

	保育所数	定員	入所児童数					保育士数
			総数	3歳未満	3歳	4歳	5歳	
2004年(平成16年)	106	9,326	9,261	2,532	2,178	2,339	2,212	1,240
2005年(平成17年)	113	10,051	9,771	2,796	2,260	2,416	2,299	1,324
2006年(平成18年)	122	11,271	10,856	3,115	2,473	2,663	2,605	1,495
2007年(平成19年)	122	11,321	10,749	3,011	2,513	2,599	2,626	1,486
2008年(平成20年)	122	11,381	10,827	3,199	2,481	2,576	2,571	1,534
2009年(平成21年)	121	11,431	11,054	3,493	2,392	2,582	2,587	1,571
：市立	67	5,705	5,149	1,385	1,144	1,316	1,304	732
：私立	54	5,726	5,905	2,108	1,248	1,266	1,283	839

(2009年(平成21年)4月1日現在, 福山市保健福祉局児童部調)

(注) 保育士数は各年5月1日現在

2. 全国・中核市の保育所の状況との比較

(単位:所, 人)

区 分	保育所数	人口1万人 当たり 保育所数	利用児童数	待機児童数
福山市	122	2.6	10,750	0
中核市35市平均	70	1.6	6,970	46
広島県合計	619	2.2	52,146	56
全国合計	22,848	1.8	2,015,382	17,926

(2007年(平成19年)4月1日現在)

(資料)

厚生労働省「保育所の状況(平成19年4月1日)等について」

総務省「住民基本台帳に基づく人口・人口動態及び世帯数(平成19年3月31日現在)」(基準人口のみ)

福山市の幼稚園数，園児数等の推移

1. 福山市の幼稚園の状況

	園数	学級数	園児数				教員数
			総数	3歳	4歳	5歳	
2004年(平成16年)	52	199	4,692	1,238	1,612	1,842	327
2005年(平成17年)	52	203	4,691	1,271	1,591	1,829	307
2006年(平成18年)	56	223	4,941	1,257	1,753	1,931	378
2007年(平成19年)	55	217	4,840	1,267	1,644	1,929	395
2008年(平成20年)	53	224	4,710	1,259	1,692	1,759	379
2009年(平成21年)	52	214	4,574	1,177	1,626	1,771	417
市立	29	45	915	21	368	526	128
学校法人立	23	169	3,659	1,156	1,258	1,245	289

(2009年(平成21年)5月1日現在，福山市教育委員会学事課調)

(注) 市立幼稚園数29のうち，9園は休園中

2. 全国・中核市の幼稚園状況との比較

(単位:園,人)

区 分	幼稚園数	人口1万人当たり幼稚園数	在園者数
福山市	55	1.2	4,840
中核市35市平均	46	1.1	6,089
広島県合計	329	1.1	35,828
全国合計	13,723	1.1	1,705,408

(2007年(平成19年)5月1日現在)

(資料) 文部科学省「学校基本調査」(平成19年5月1日現在)

総務省「住民基本台帳に基づく人口・人口動態及び世帯数(平成19年3月31日現在)(基準人口のみ)

福山市の保育士・幼稚園教諭採用数の推移

1. 保育士

採用年度	採用保育士数(人)			保育所数(所)		
	市立	法人立	合計	市立	法人立	合計
2005年度(平成17年度)	24	60 ※1	84	69	51	120
2006年度(平成18年度)	26	80 ※1	106	70	52	122
2007年度(平成19年度)	21	100	121	68	54	122
2008年度(平成20年度)	20	99	119	69	53	122
2009年度(平成21年度)	18	107 ※2	125	67	54	121
2010年度(平成22年度)	20 ※3					

(福山市保健福祉局児童部, 福山市法人立保育所協議会調)

※1 2005～2006年度の法人立保育所の人数は採用人数ではなく募集人数。

※2 2009年度は, 児童福祉法改正に伴う, 採用増などの諸要因を含む。

※3 2010年度の市立保育所の採用数は, 採用予定者数。

※ 2006年度以降は, 市立保育所の法人移管に伴う採用増などの諸要因を含む。

2. 幼稚園教諭

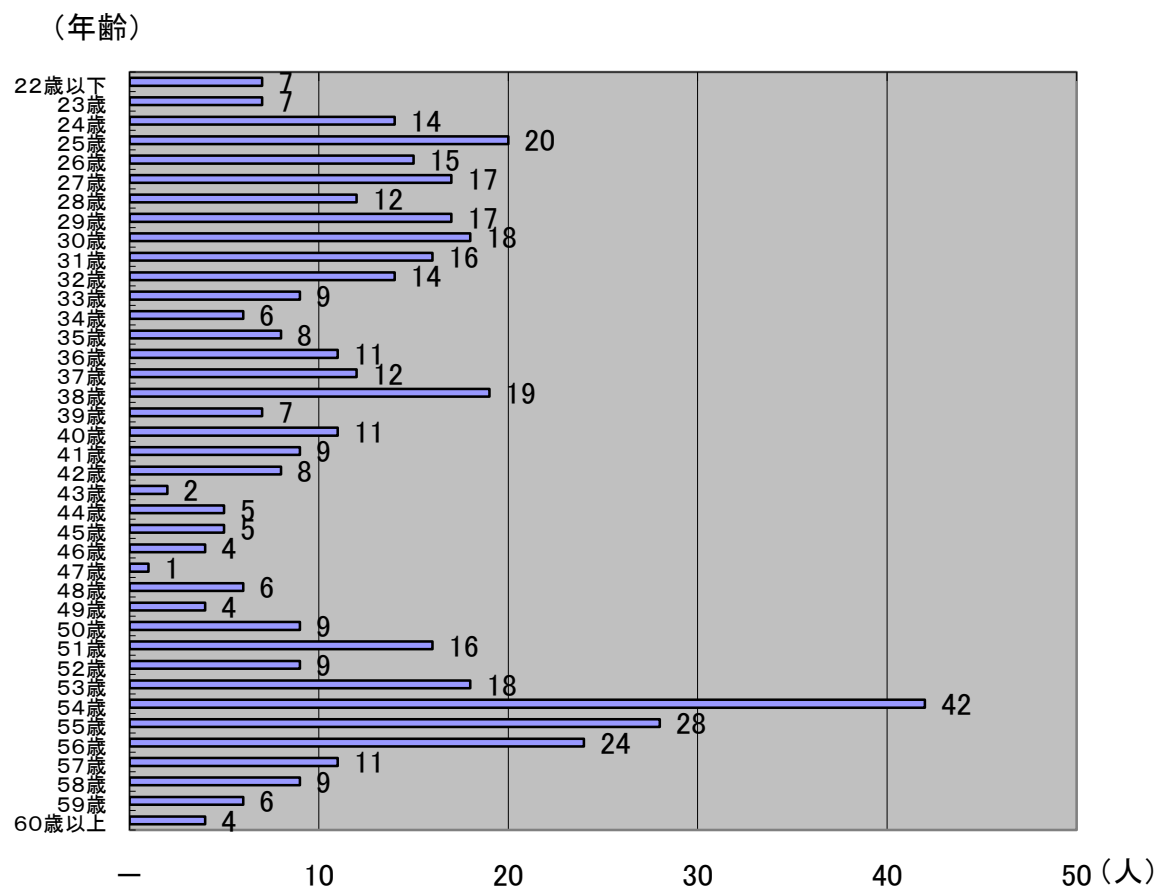
採用年度	採用教諭数(人)			幼稚園数(園) ※1		
	市立	法人立	合計	市立	法人立	合計
2005年度(平成17年度)	0	35	35	31	21	52
2006年度(平成18年度)	5	34	39	32	24	56
2007年度(平成19年度)	6	27	33	31	24	55
2008年度(平成20年度)	8	25	33	30	23	53
2009年度(平成21年度)	0	24	24	29	23	52
2010年度(平成22年度)	4 ※2					

(福山市教育委員会学事課, 福山市私立幼稚園協会調)

※1 幼稚園数には休園中も含む。2009年度は9園が休園中。

※2 2010年度の市立幼稚園の採用数は, 採用予定者数。

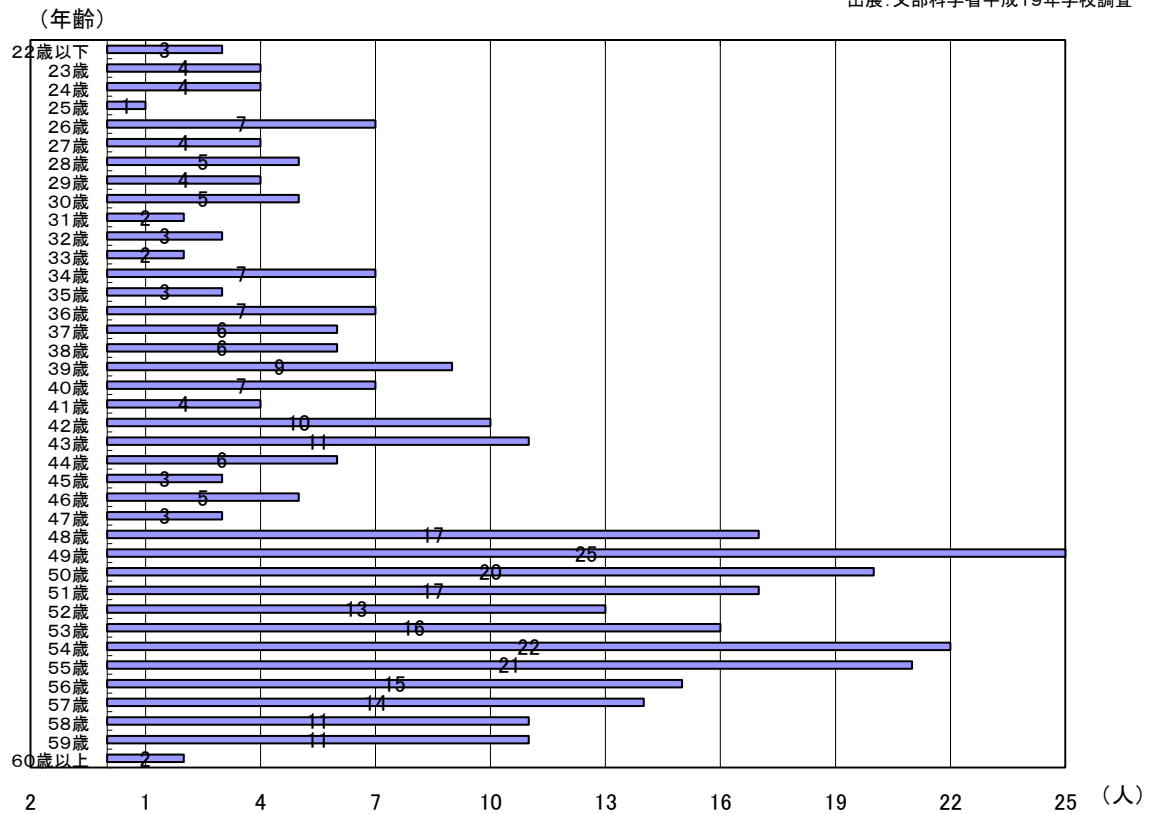
福山市の市立保育所保育士の年齢構成



広島県及び岡山県の公立幼稚園教諭の年齢構成

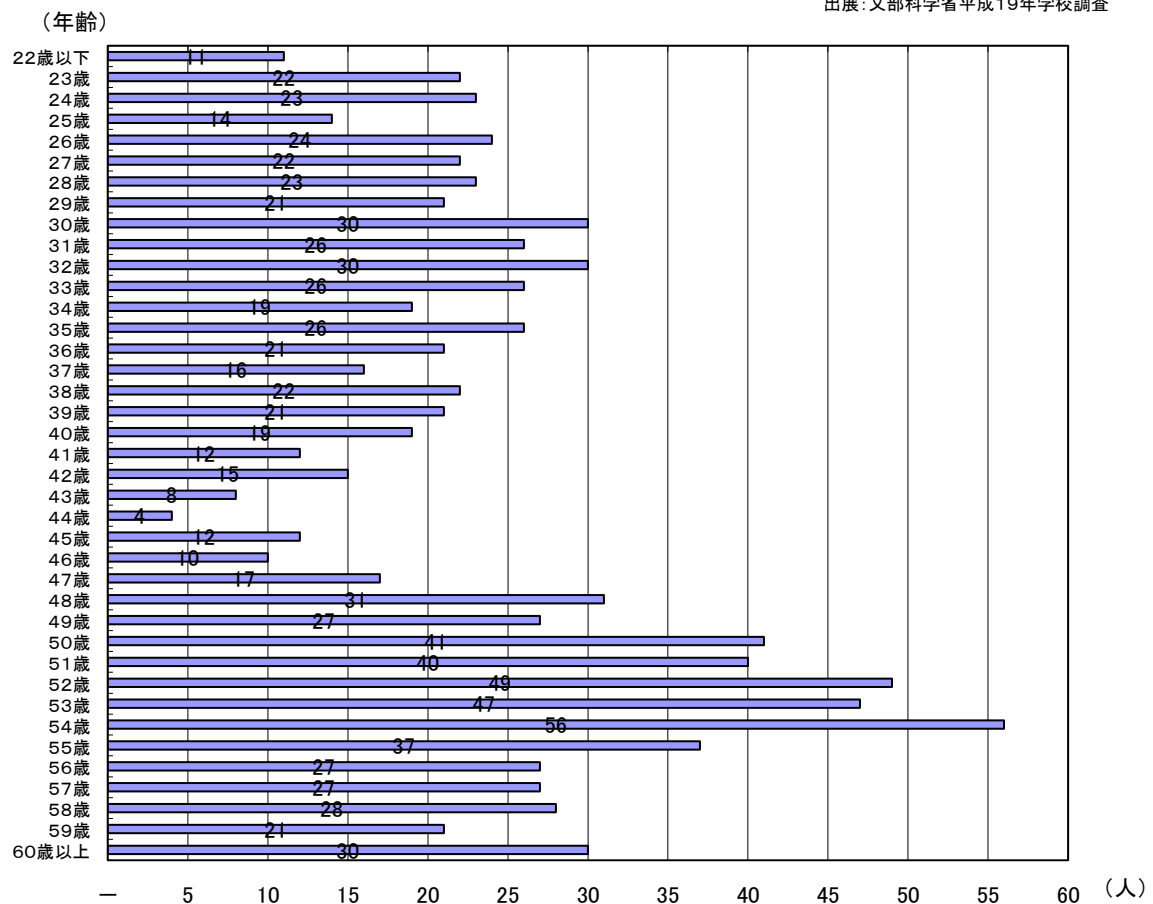
【広島県】

出展：文部科学省平成19年学校調査



【岡山県】

出展：文部科学省平成19年学校調査



広島県及び岡山県の公立学校教員の採用数の推移

1. 広島県・広島市の採用状況

(単位：人)

年 度	小学校			特別支援学校		
	受験者数	採用者数	倍率	受験者数	採用者数	倍率
平成16年度採用	1,011	142	7.1倍	11	4	2.8倍
		うち広島市 58			うち広島市 2	
		うち福山市 18				
平成17年度採用	1,035	179	5.8倍	47	11	4.3倍
		うち広島市 67			うち広島市 2	
		うち福山市 28				
平成18年度採用	1,020	284	3.6倍	85	17	5.0倍
		うち広島市 75			うち広島市 2	
		うち福山市 38				
平成19年度採用	1,039	297	3.5倍	37	12	3.1倍
		うち広島市 94			うち広島市 2	
		うち福山市 67				
平成20年度採用	1,030	296	3.5倍	59	25	2.4倍
		うち広島市 106			うち広島市 2	
		うち福山市 73				
平成21年度採用	770	317 ※	2.4倍	97	43 ※	2.3倍
					—	
		うち福山市 71				
平成22年度採用	808	320 ※	2.5倍	168	60 ※	2.8倍

(文部科学省ホームページ, H21年度以降は広島県教育委員会ホームページ調)

※平成21年度の採用者数欄は、採用候補者名簿搭載者数。

※平成22年度の採用者数欄は、採用見込人数。

2. 岡山県の採用状況

(単位：人)

年 度	小学校			特別支援学校		
	受験者数	採用者数	倍率	受験者数	採用者数	倍率
平成16年度採用	999 ※	149	6.7倍	—	17	—
平成17年度採用	989 ※	210	4.7倍	—	0	—
平成18年度採用	989 ※	189	5.2倍	—	25	—
平成19年度採用	902 ※	143	6.3倍	—	41	—
平成20年度採用	809 ※	149	5.4倍	—	43	—
平成21年度採用	795	175 ※	4.5倍	53	10 ※	5.3倍
平成22年度採用	884 ※	185 ※	4.8倍	69	10 ※	6.9倍
		うち岡山市 47			うち岡山市 0	

(文部科学省ホームページ, H21年度以降は岡山県教育委員会ホームページ調)

※平成16年度から平成20年度までの、小学校受験者数には、特別支援学校受験者数を含む。

※平成21年度の採用者数欄は採用候補者数。

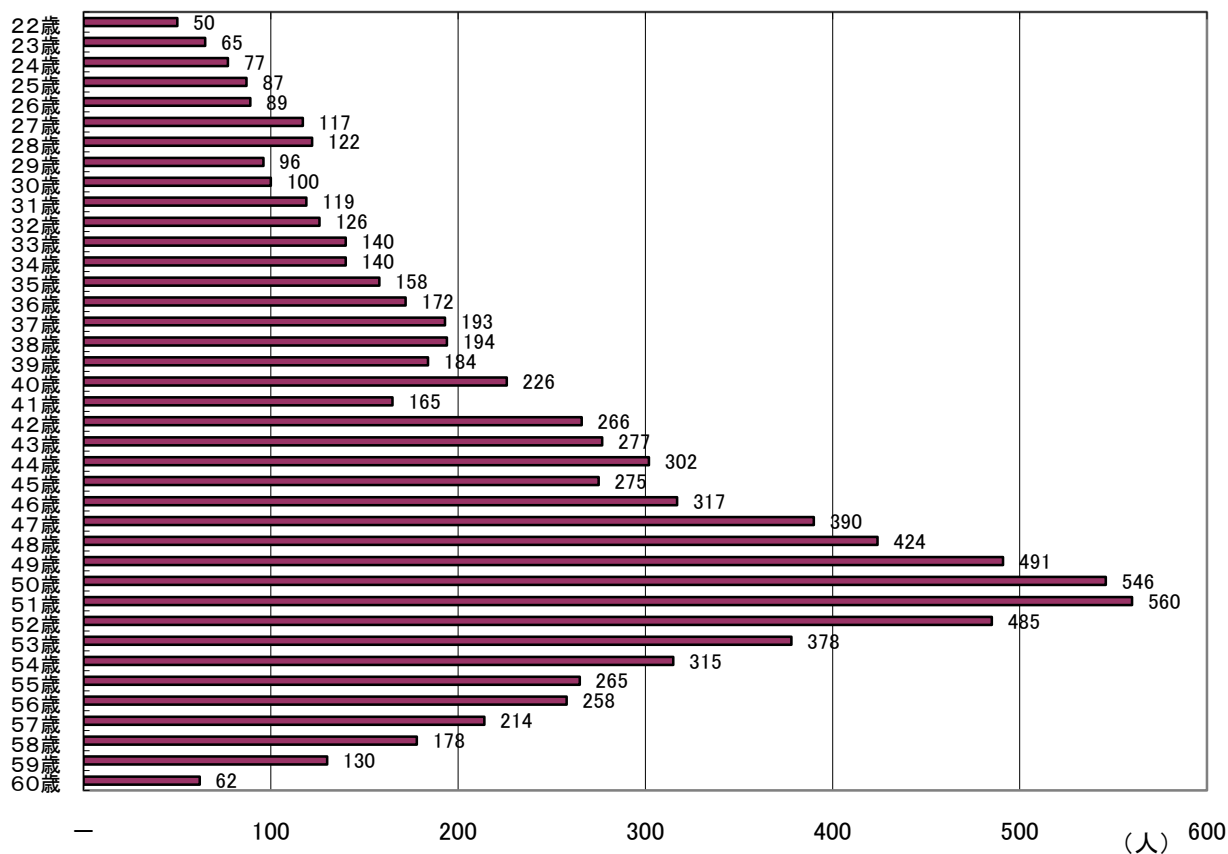
※平成22年度の採用者数欄は採用見込人数、受験者数欄は志願者数。

広島県の公立小学校本務教員の年齢構成・採用状況

【年 齢 構 成】

出典：文部科学省平成19年学校調査

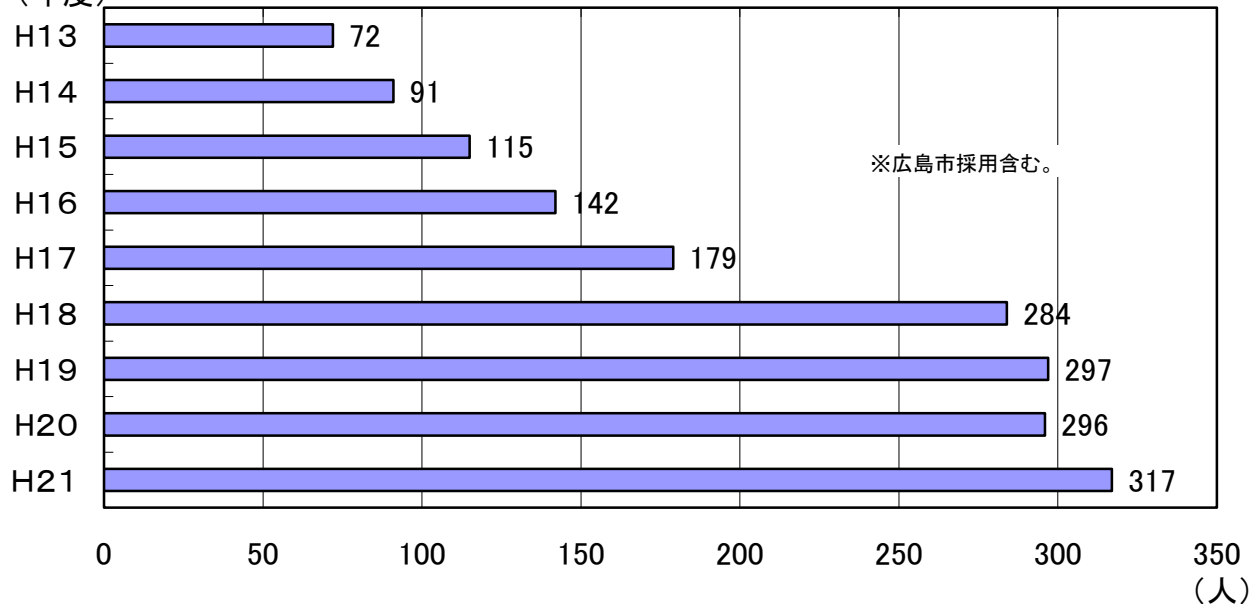
(年齢)



【採 用 状 況】[参考]

出典：文部科学省調べ「公立学校教員採用選

(年度)

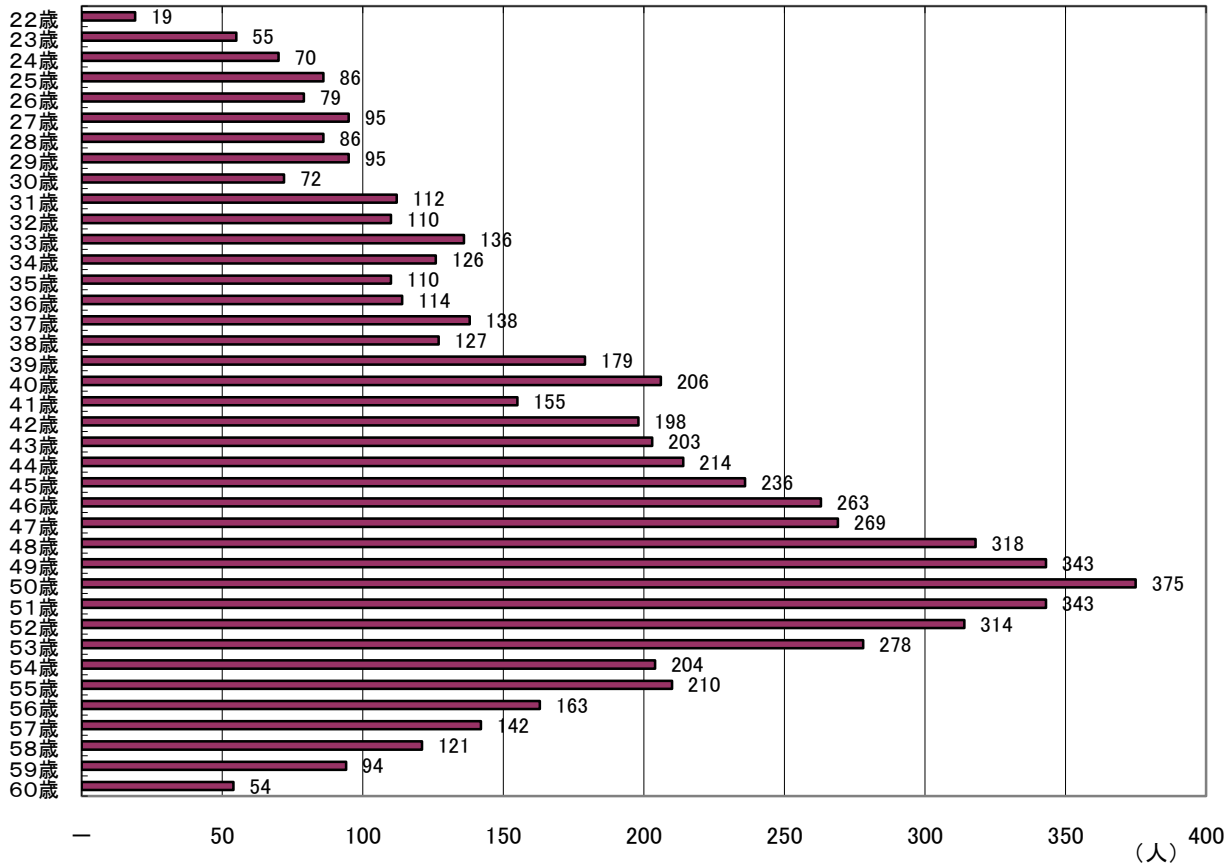


岡山県の公立小学校本務教員の年齢構成・採用状況

【年 齢 構 成】

出典：文部科学省平成19年学校調査

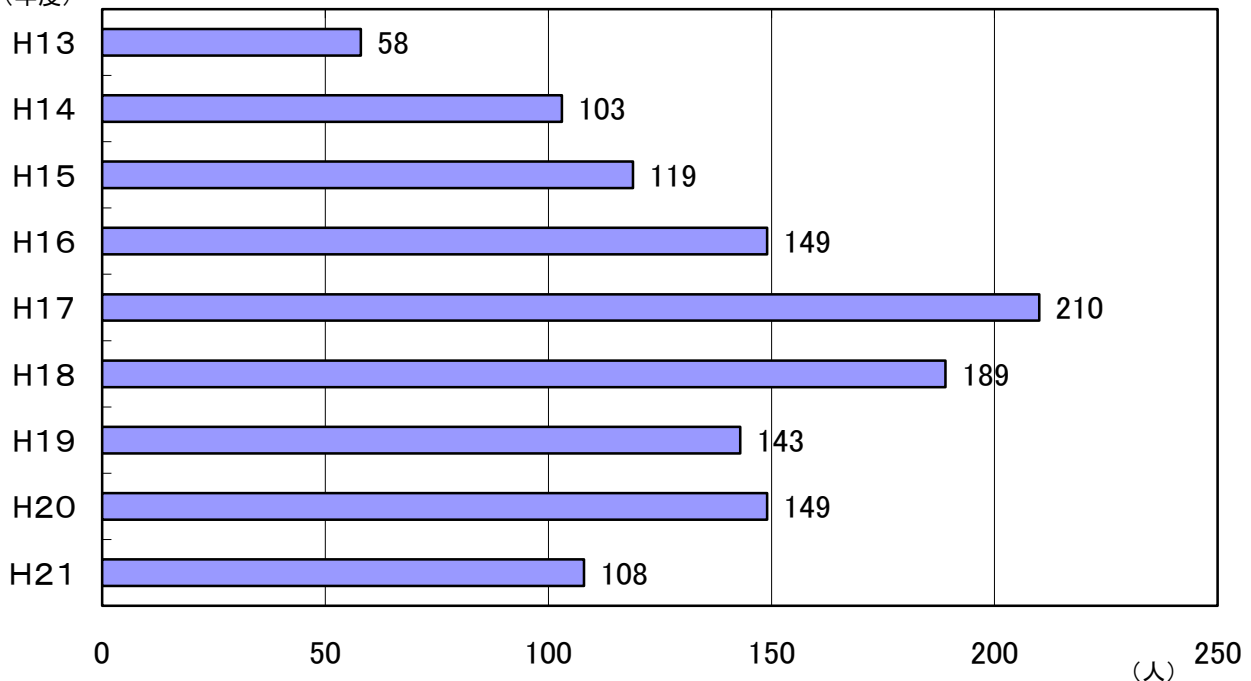
(年齢)



【採 用 状 況】[参考]

出典：文部科学省調べ「公立学校教員採用選

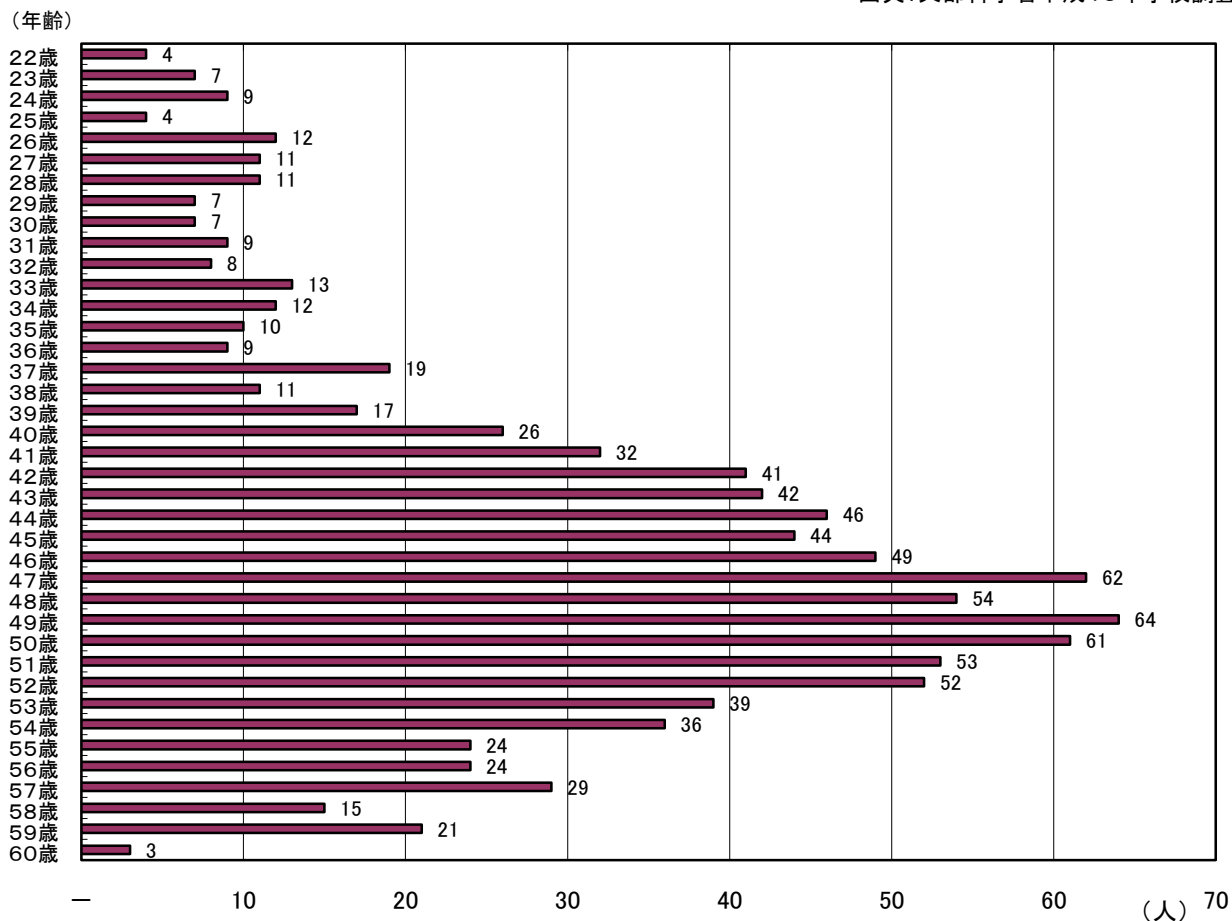
(年度)



広島県の特別支援学校教員の年齢構成・採用状況

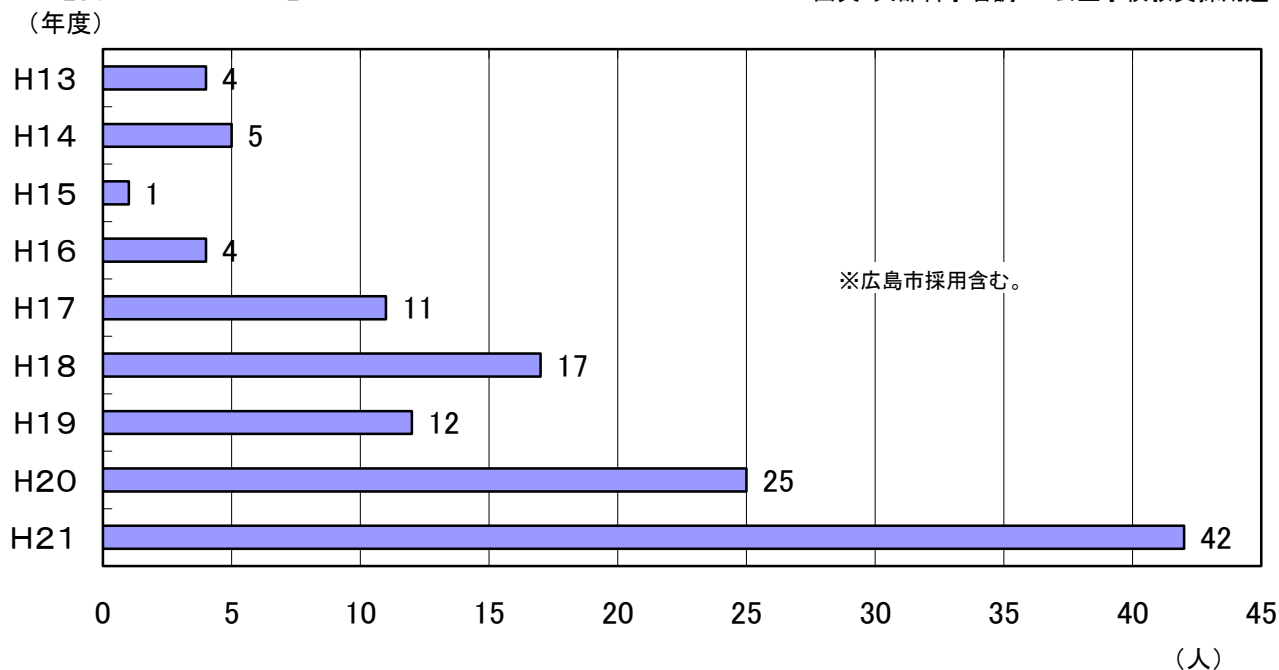
【年 齢 構 成】

出典：文部科学省平成19年学校調査



【採 用 状 況】

出典：文部科学省調べ「公立学校教員採用選

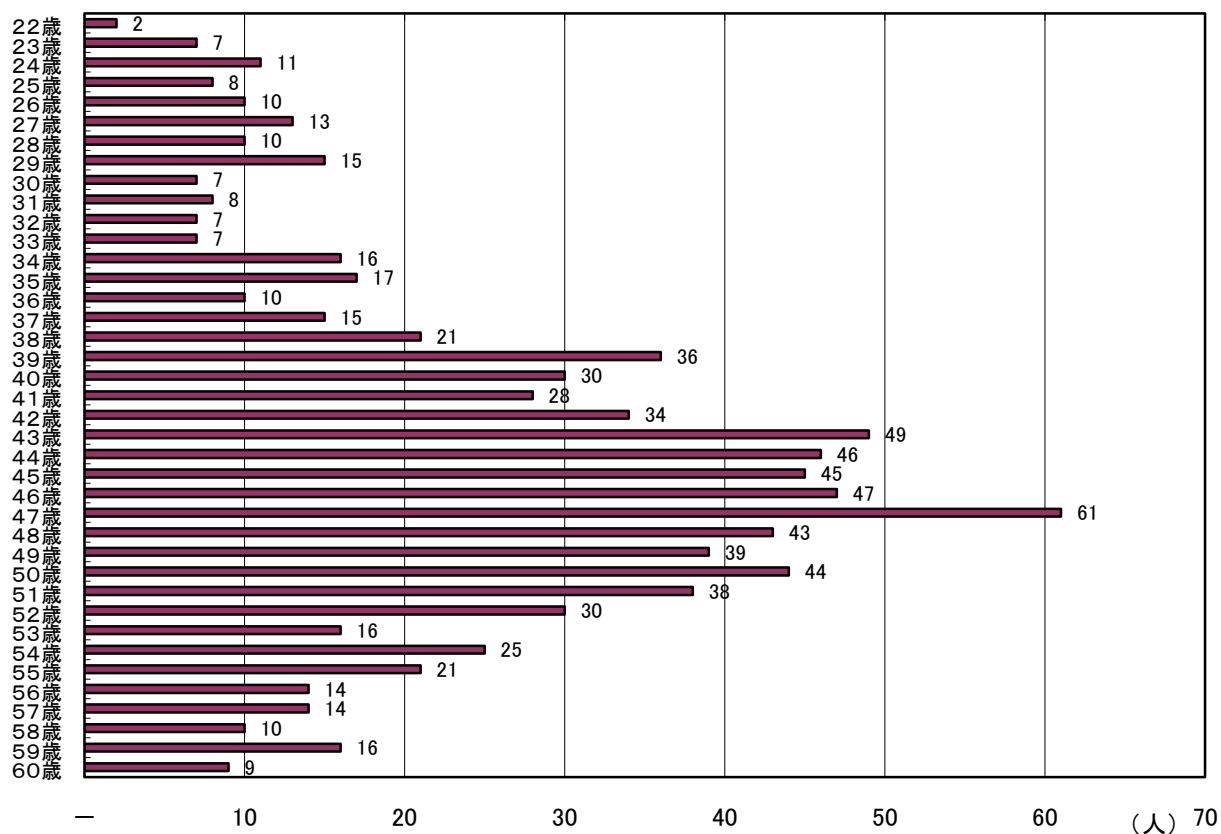


岡山県の特別支援学校教員の年齢構成・採用状況

【年 齢 構 成】

(年齢)

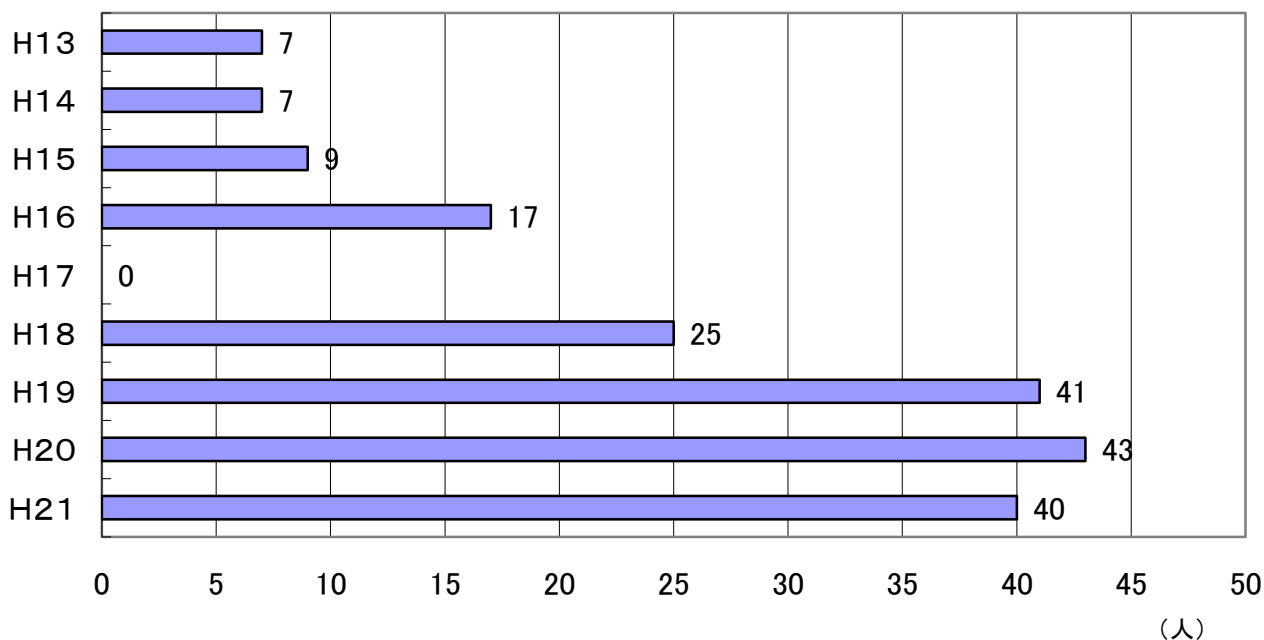
出典：文部科学省平成19年学校調査



【採 用 状 況】

(年度)

出典：文部科学省調べ「公立学校教員採用選



福山市の小学校・中学校におけるいじめ・不登校の状況(出現率)

小学校		福山市		広島県		全国	
年度(西暦)	年度(平成)	いじめの比率	不登校の比率	いじめの比率	不登校の比率	いじめの比率	不登校の比率
2003年	15年		0.58%		0.49%		0.33%
2004年	16年		0.53%		0.44%		0.32%
2005年	17年		0.56%		0.45%		0.32%
2006年	18年	0.18%	0.60%	0.17%	0.45%	0.85%	0.33%
2007年	19年	0.18%	0.55%	0.14%	0.45%	0.69%	0.34%

中学校		福山市		広島県		全国	
年度(西暦)	年度(平成)	いじめの比率	不登校の比率	いじめの比率	不登校の比率	いじめの比率	不登校の比率
2003年	15年		4.45%		3.63%		2.73%
2004年	16年		4.08%		3.43%		2.73%
2005年	17年		3.95%		3.22%		2.75%
2006年	18年	0.60%	3.74%	0.55%	3.24%	1.49%	3.01%
2007年	19年	0.56%	3.87%	0.60%	3.25%	1.27%	3.07%

小中計		福山市		広島県		全国	
年度(西暦)	年度(平成)	いじめの比率	不登校の比率	いじめの比率	不登校の比率	いじめの比率	不登校の比率
2003年	15年		1.75%		1.50%		1.15%
2004年	16年		1.59%		1.38%		1.14%
2005年	17年		1.58%		1.31%		1.13%
2006年	18年	0.30%	1.53%	0.29%	1.32%	1.06%	1.19%
2007年	19年	0.29%	1.55%	0.29%	1.33%	0.88%	1.22%

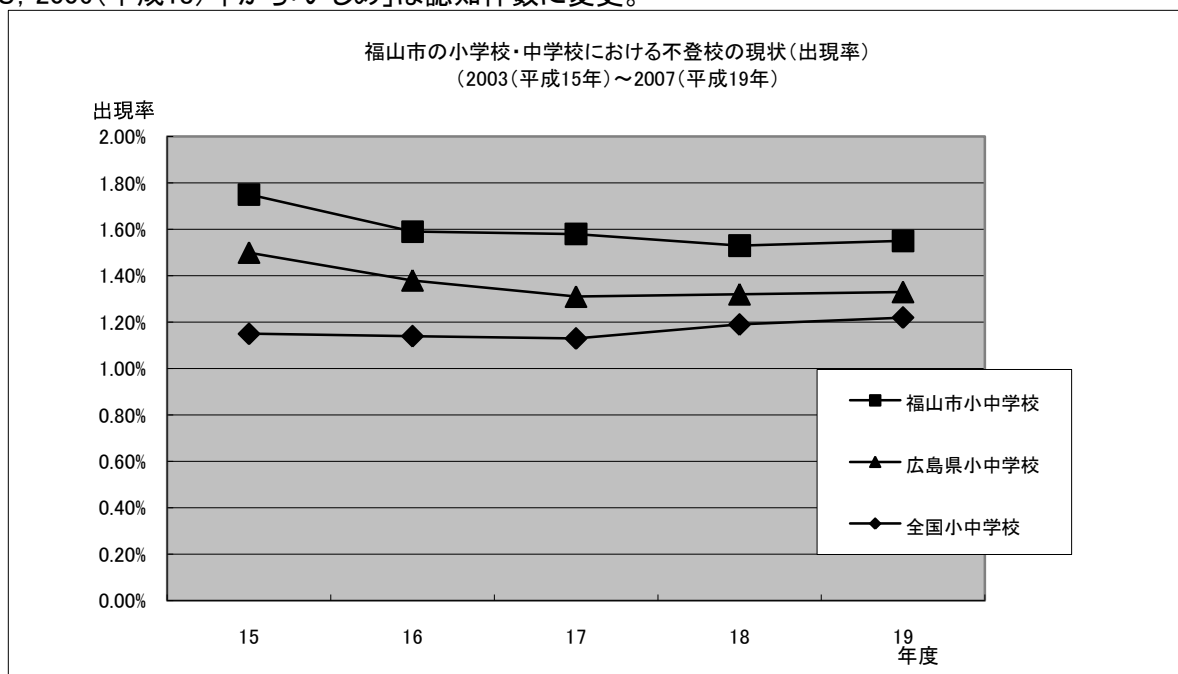
注

1, 福山市教育委員会学事課調べ。

2, 比率の計算式は以下のとおり。

「いじめ」の場合:「認知件数÷児童生徒数×100」,「不登校」の場合:「合計実人数÷児童生徒数×100」

3, 2006(平成18)年から「いじめ」は認知件数に変更。



福山市の小学校数、学級数（特別支援学級を含む）、児童数等の推移

1. 福山市内の小学校の状況（特別支援学級を含む）

（単位：所、人）

	学校数	学級数	児童数							教員数 （本務者）
			総数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	
2004年（平成16）	71	893	24,576	4,168	4,037	4,035	4,226	4,034	4,076	1,294
2005年（平成17）	75	938	25,225	4,254	4,270	4,105	4,143	4,315	4,138	1,353
2006年（平成18）	82	1,034	27,715	4,658	4,609	4,698	4,556	4,497	4,697	1,477
2007年（平成19）	82	1,015	27,610	4,622	4,649	4,596	4,703	4,545	4,495	1,482
2008年（平成20）	83	1,039	27,682	4,615	4,611	4,656	4,597	4,675	4,528	1,509
2009年（平成21）	83	1,036	27,490	4,421	4,614	4,590	4,623	4,591	4,651	1,508
公立	80	1,008	26,763	4,292	4,470	4,487	4,517	4,470	4,527	1,458
私立	3	28	727	129	144	103	106	121	124	50

（各年5月1日現在、福山市教育委員会学事課調）

※学校数には、休校も含む。

2. 上記のうち、特別支援学級の状況

	学級数	児童数						
		総数	1年	2年	3年	4年	5年	6年
2004年（平成16）	80	255	36	49	41	47	53	29
2005年（平成17）	84	298	49	45	52	46	52	54
2006年（平成18）	92	312	53	50	49	56	48	56
2007年（平成19年）	92	353	78	57	60	52	59	47
2008年（平成20）	100	394	64	79	69	66	56	60
2009年（平成21）	111	440	85	78	79	74	67	57

（各年5月1日現在、福山市教育委員会学事課調）

福山市の特別支援学校の学級数，児童・生徒数等の推移

1. 福山市内の特別支援学校(3校)の状況

(単位:人)

	障害 種別	学級数	児童・生徒数				教員数 (本務者)
			総数	小学部	中学部	高等部	
2005年(平成17年)	—	93	333	127	74	132	235
2006年(平成18年)	—	98	358	144	70	144	218
2007年(平成19年)	—	96	369	138	84	147	192
2008年(平成20年)	—	101	405	150	104	151	228
県立福山特別支援学校	肢体不自由	26	61	37	13	11	54
県立福山北特別支援学校	知的障害	45	207	76	48	83	103
県立沼隈特別支援学校	知的障害	30	137	37	43	57	71

(福山特別支援学校, 福山北特別支援学校, 沼隈特別支援学校調)

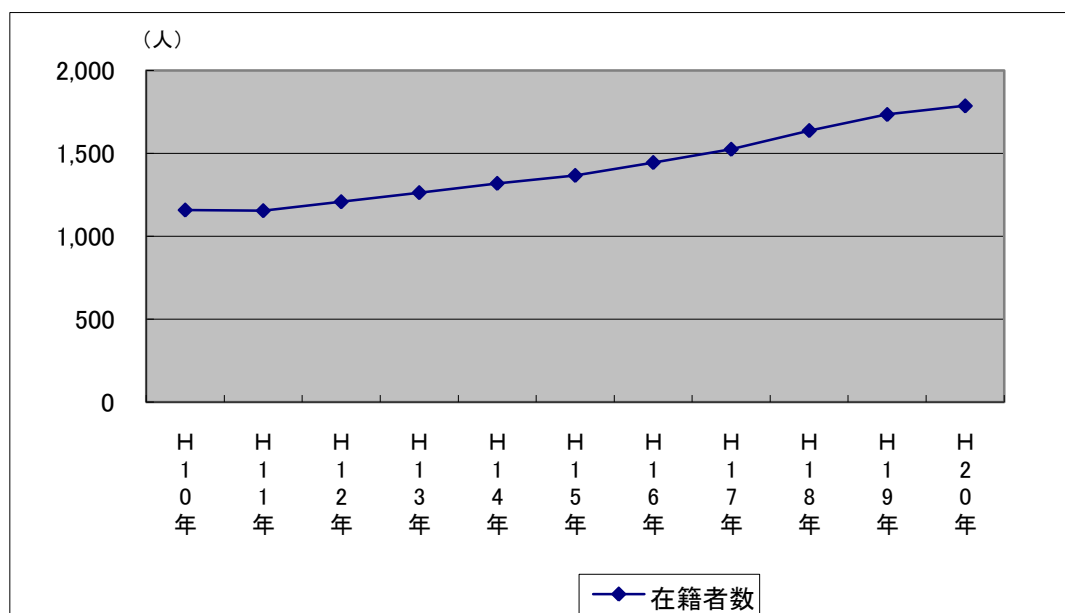
※各年5月1日現在。

2. 広島県の特別支援学校在籍者数の推移

(各年度5月1日現在)

	H10年	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年
在籍者数	1,158	1,154	1,208	1,263	1,319	1,367	1,445	1,525	1,638	1,735	1,787

※幼稚部, 小学部, 中学部, 高等部のすべての在籍者数



福山市立大学が養成する人材に関するアンケート調査 (市内の公立・私立・法人立の保育所・幼稚園・小学校)

1 調査目的

2011年(平成23年)4月の福山市立大学設置に向けて、本市に在所する保育所・幼稚園・小学校を対象として、養成する人材の必要性について調査することを目的とする。

2 調査対象及び標本抽出方法

(1) 福山市内に在所する公立・私立・法人立の保育所、幼稚園、小学校244施設全てを標本とする。

3 実施時期 2009年(平成21年)11月

4 調査の主要項目

- (1) 福山市立大学教育学部児童教育学科が養成する人材の必要性
- (2) 福山市立大学学生の活動支援の受入意向

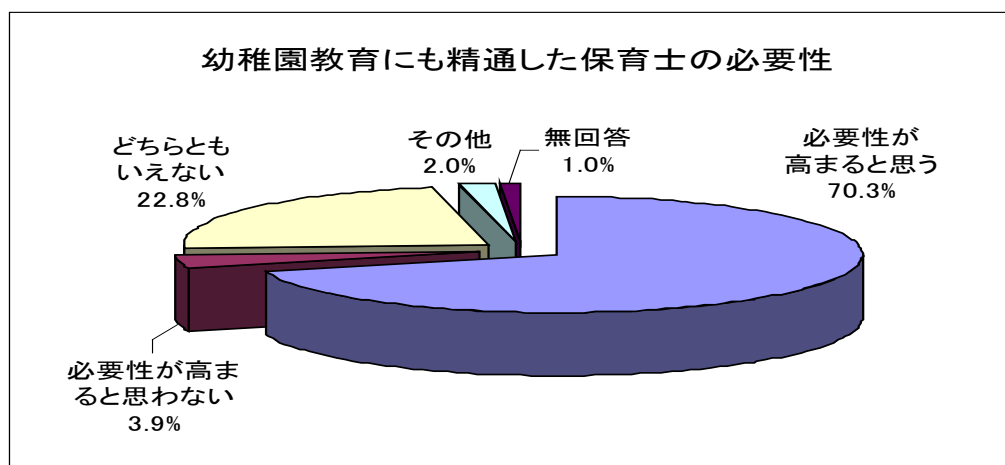
5 回答施設数 196施設(回収率 80.3%)

内訳	保育所	101施設	(回収率 84.1%)
	幼稚園	29施設	(回収率 67.4%)
	小学校	66施設	(回収率 81.5%)

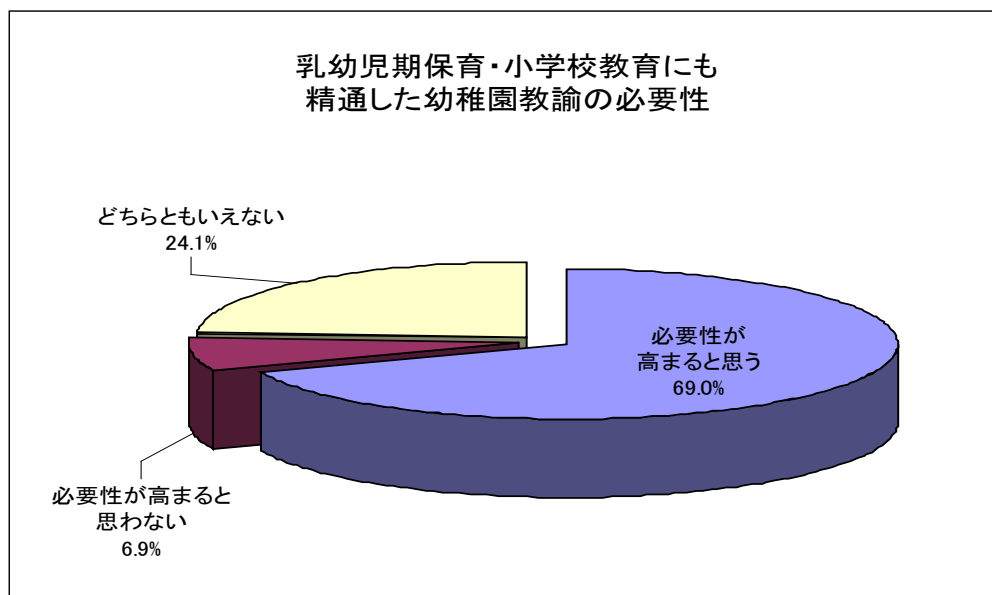
6 調査結果

(1) 養成する人材の必要性

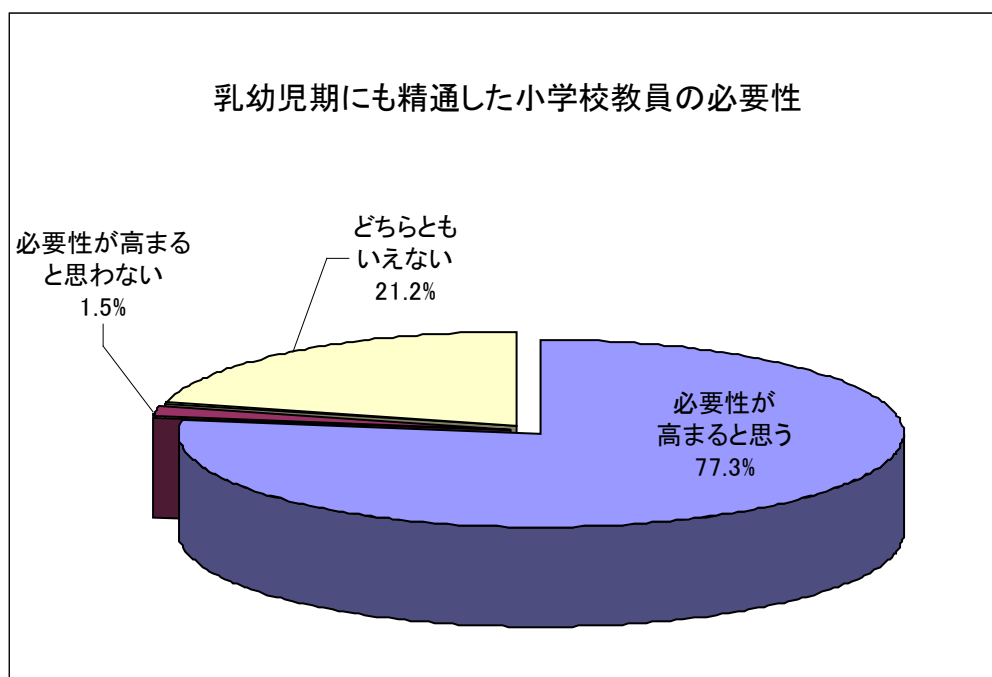
教育学部児童教育学科で養成する幼稚園教育にも精通した保育士の必要性について、「今後必要性が高まる」と回答した保育所は、71施設(70.3%)で最も多く、次いで、「どちらともいえない」と回答した施設は、23施設(22.8%)となっている。



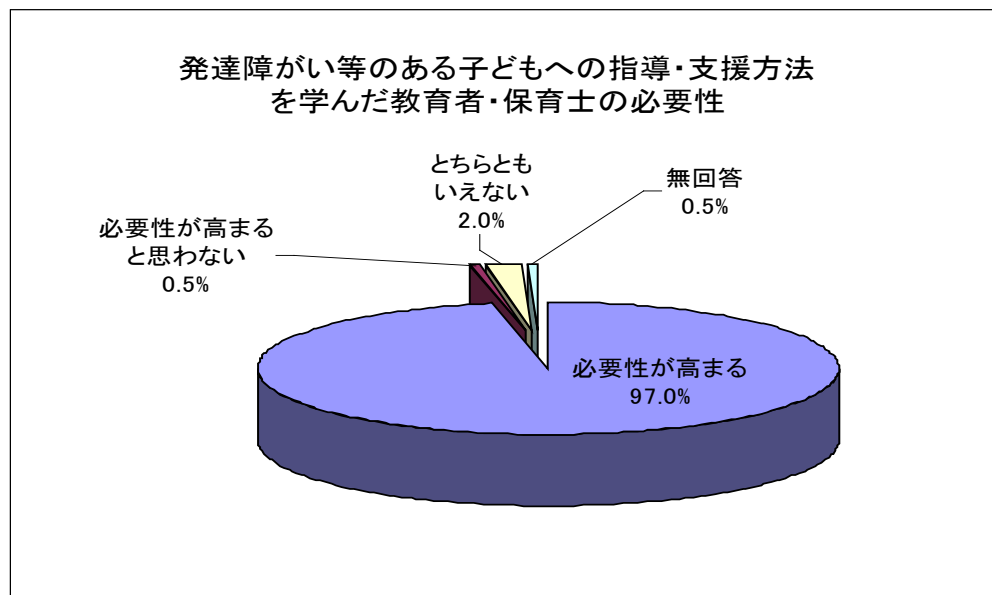
子どもの発達を総合的に捉え、乳幼児保育や小学校教育にも精通した幼稚園教諭の必要性について、「今後必要性が高まる」と回答した幼稚園は、20施設（69.0％）で、「どちらともいえない」と回答した幼稚園は、7施設（24.1％）である。



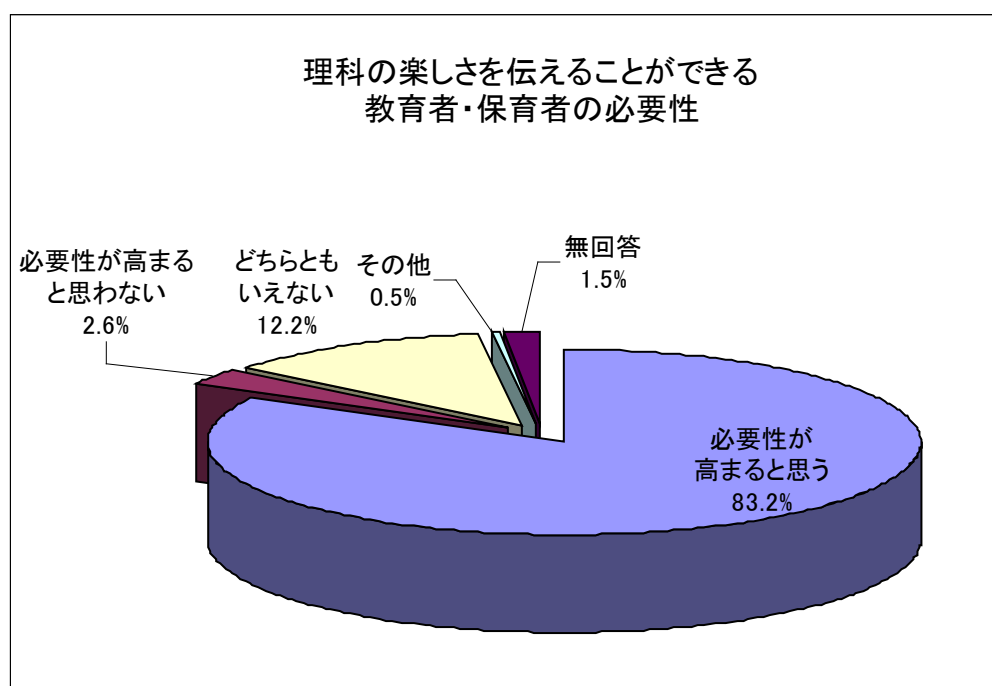
また、子どもの発達を総合的に捉え、乳幼児期にも精通した小学校教諭の必要性については、「今後必要性が高まる」と回答した小学校は、51施設（77.3％）で、「どちらともいえない」と回答した小学校は、14施設（21.2％）である。



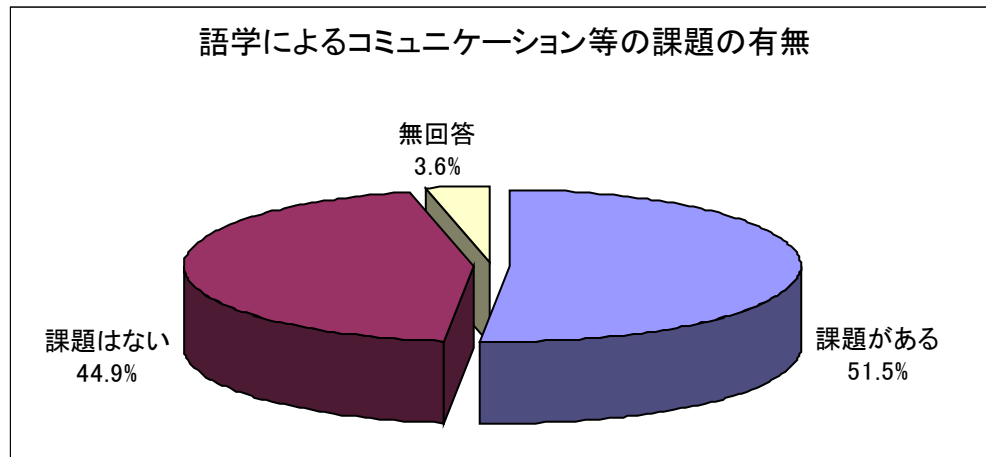
「発達障がい等のある子どもへの指導・支援方法を学んだ教育者・保育士の必要性については、「今後必要性が高まる」と回答した施設が190施設（97.0%）,「どちらともいえない」と回答した施設が4施設（2.0%）となっている。



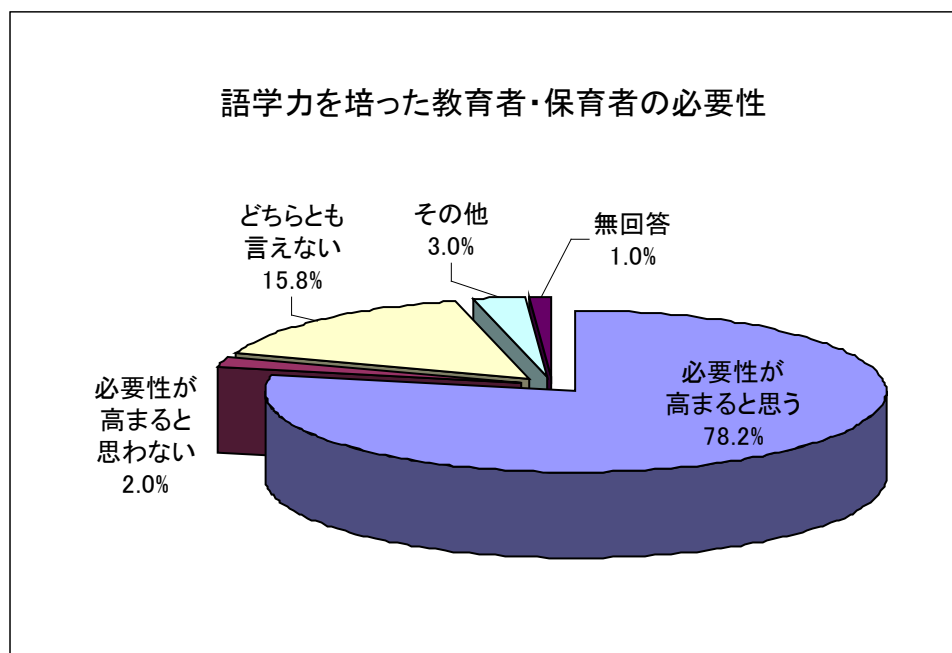
さらに、実験や観察・実習を通じて、幼児には、自然の大きさ・美しさ、不思議さ、小学生には、理科の楽しさを伝えることができる教育者・保育士の必要性について、「今後必要性が高まる」と回答した施設が、163施設（83.2%）,「どちらともいえない」と回答した施設が、24施設（12.2%）となっている。



語学による違いによりコミュニケーション等において、課題があると思っている施設は、101施設（51.5％）で、課題はないと思っている施設は、88施設（44.9％）となっている。

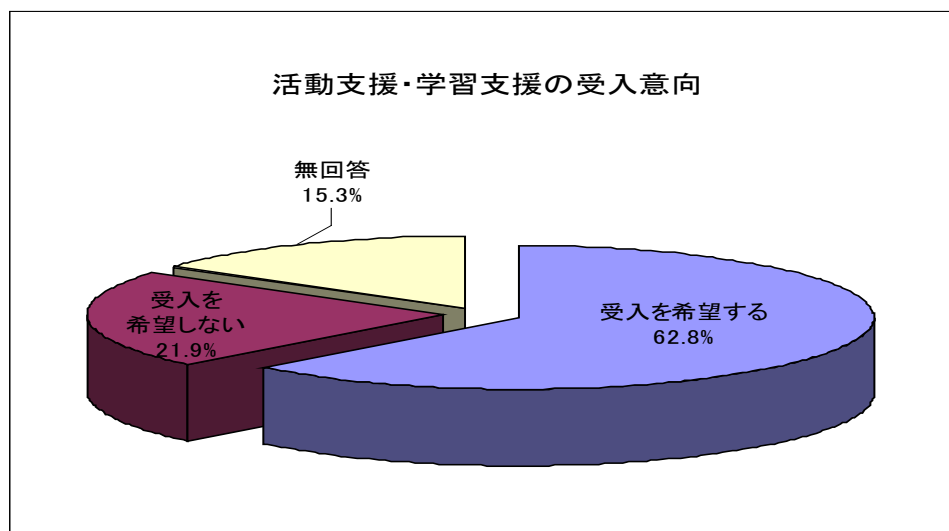


課題があると回答した施設のうち、語学力を培った教育者・保育者の必要性については、「必要性が高まる」と回答した施設は79施設（78.2％），「どちらとも言えない」と回答した施設は16施設（15.8％）となっている。



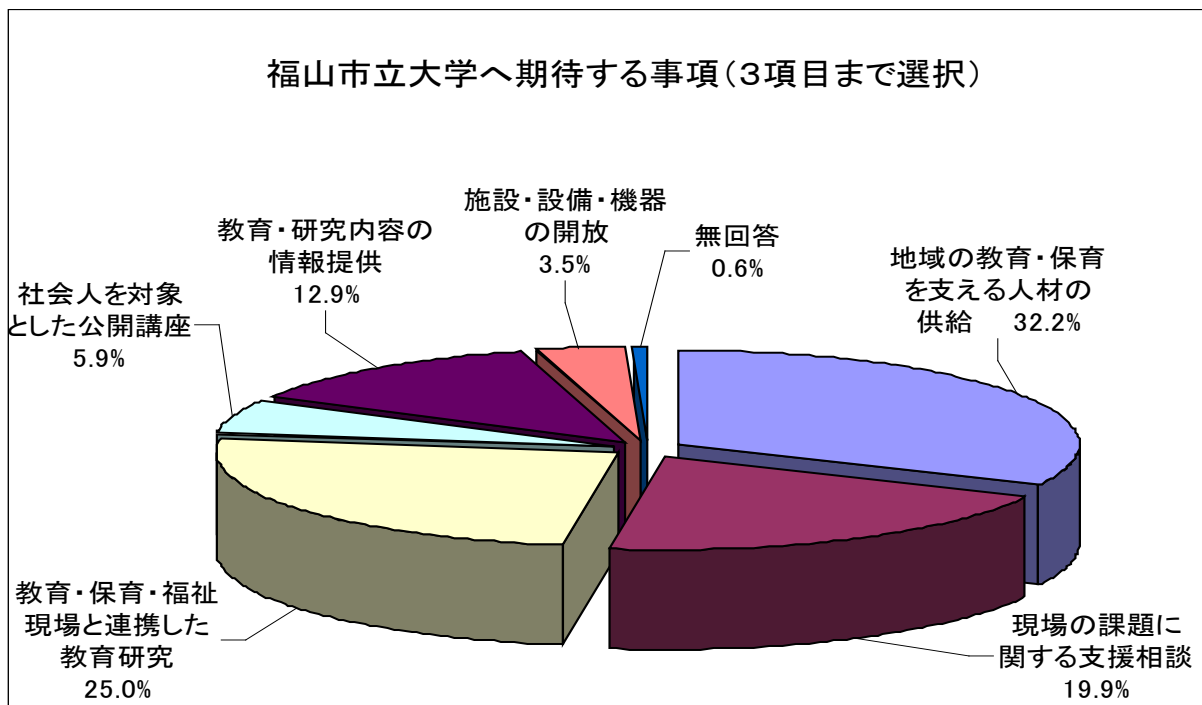
（２）特別活動・学習支援に係る福山市立大学学生の受入意向

保育士・教員志望の学生による保育中、授業中の指導や特別活動、放課後等の遊びなどへの活動支援・学習支援の受入意向について、「受入を希望する」と回答した施設は、123施設（62.8％）で、「受入を希望しない」と回答した施設は、43施設（21.9％）である。



(3) 福山市立大学への期待

福山市立大学教育学部児童教育学科へ期待する事項として、3項目まで選択したもので、最も多かったのは、「地域の教育・保育を支える人材の供給」が171ポイント（32.2%）で、次いで「教育・保育・福祉現場と連携した教育研究」が132ポイント（25.0%）、「現場の課題に関する支援相談」が107ポイント（19.9%）である。



福山市立大学学生の採用意向に関するアンケート調査 (市内の私立・法人立の保育所・幼稚園・小学校)

1 調査目的

2011年(平成23年)4月の福山市立大学設置に向けて、本市に在所する保育所・幼稚園・小学校を対象として、卒業生の採用見通しについて調査することを目的とする。

2 調査対象及び標本抽出方法

(1) 福山市内に在所する私立・法人立の保育所、幼稚園、小学校の80施設の全てを標本とする。

3 実施時期 2009年(平成21年)11月

4 調査の主要項目

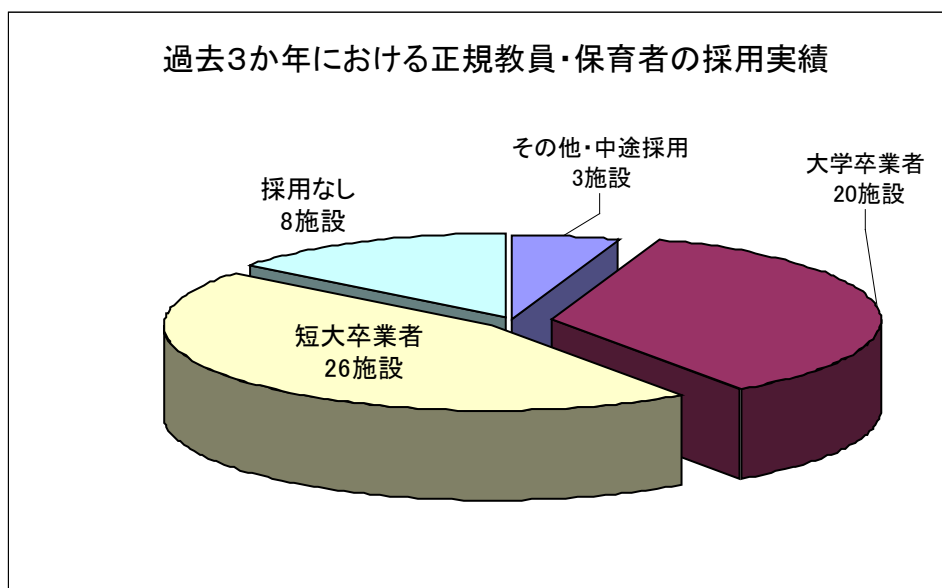
- (1) 採用に関する事項(採用実績、今後の採用予定)
- (2) 福山市立大学学生の活動支援の受入意向、卒業生の採用意向

5 回答施設数 57施設(回収率 71.3%)

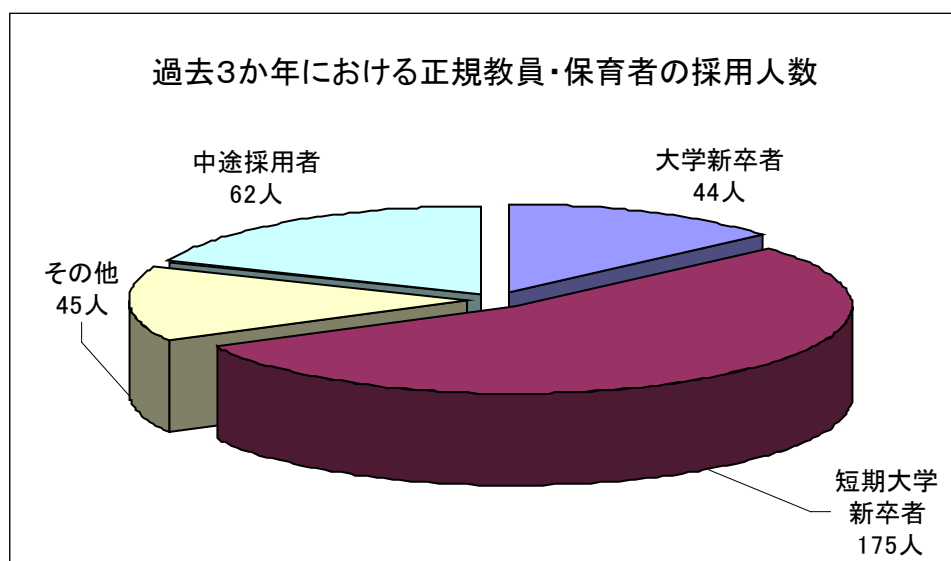
6 調査結果

(1) 大学新卒者の採用実績

平成19年度～平成21年度の3か年間で、正規教員・保育士の採用について、「大学新卒者を採用した」と回答した施設は、20施設(42%)で、「大学新卒者を採用していない」と回答した施設は、26施設(46%)となっている。

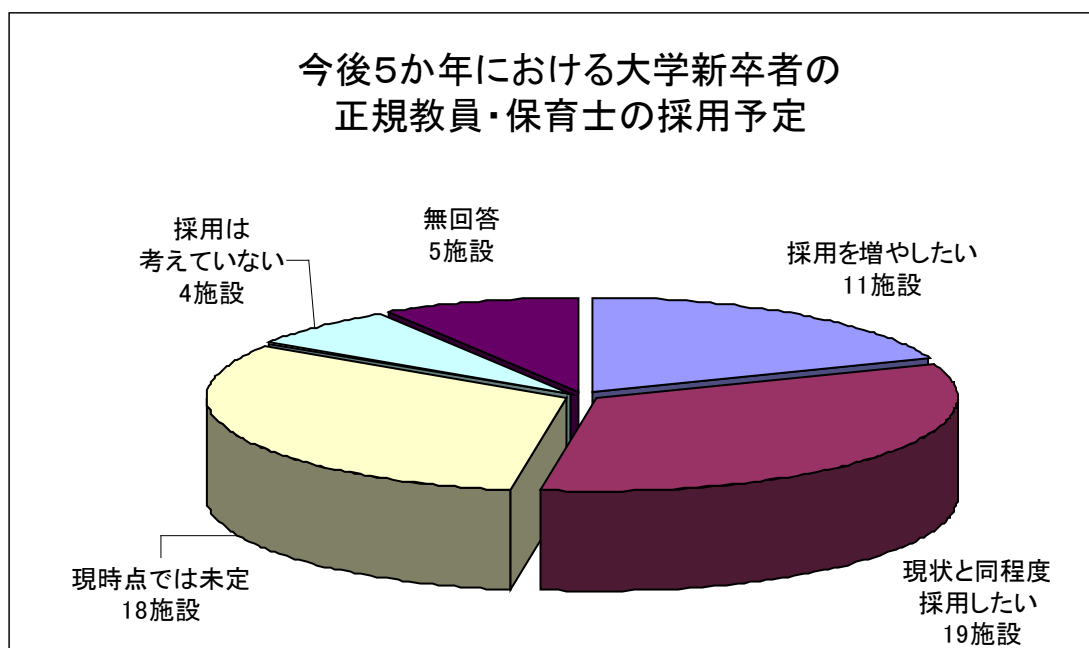


また、平成19年度～平成21年度の3か年間の、正規教員・保育士の採用人数については、「大学新卒者」は、44人（13%）、「短期大学新卒者」が175人（54%）となっている。



（2）今後の採用予定

平成22年度から平成26年度までの今後5年間において、大学新卒者の正規教員・保育士の採用予定については、「採用を増やしたい」が11施設（19%）、「現状と同程度採用したい」が19施設（33%）となっている。採用人数については、なお、「採用を減らしたい」と回答した施設は全く無かった。



(3) 採用意向

福山市立大学教育学部児童教育学科の卒業生の採用意向については、「ぜひ採用したい」、「採用したい」、「一応採用を検討する」と回答した施設の合計は、55施設（96.5％）である。「採用しない」と回答した施設は、1施設（1.8％）である。

当該採用意向の割合（「ぜひ採用したい」、「採用したい」、の合計60.0％）と広島県内に在在する私立・法人立の保育所・幼稚園・小学校数（445施設）から推計をすると、267施設の採用意向が見込まれる。

また、就職先は、本市のみならず、県内・県外各地も対象となる。

併せて、公立施設も就職先対象であり、就職先確保については、一定の見通しがあると考えられる。

